



平成 7 年 6 月



教 育 随 想

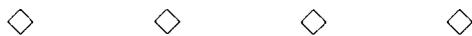
広島市教育センター所長 新 居 俊 之

中学校長在任中、近くの小学校、高等学校の卒業式に何回か参加する機会を得た。

卒業生や保護者、来賓の方々を前にして、校長先生が式辞の中で話される内容の中心は、「校訓にあるような人になってほしい」、「心豊かな人に育ってほしい」、「国際社会に生きる人になってほしい」、「生涯学びつづける人になってほしい」等であった。私もまた、この3月、この様な内容の話をしてきた。

しかし、子どもたちは教師や保護者の後姿を見て育つことを考えると、私たち教師や保護者が果たしてどれだけ「そのような人」になるための努力や実践をしているであろうか疑問である。自分自身を振り返ってみると我ながら心許ない。

教師や保護者自身が研鑽を積み、成長し、変わっていくことが子どもたちを変えていくものであるとするならば、何事にも、まず教師や保護者が率先垂範、よき手本を示すべきであろうと反省することしきりである。



この3月、私の在職していた中学校の卒業式。式次第どおり卒業生の答辞も終わり、いよいよ閉式が

近づいた時、ハプニングが起きた。日ごろ問題行動を示す傾向にあった卒業生男子7～8名が泣きながら立ち、「わしは学校が好きだった」、「先生が好きだったんだ」と涙声で叫び、今迄の行動について反省のことばを語ったのである。これに対し、卒業生、在校生が一斉に拍手をした。

それまでの答辞も涙声であり、卒業生も多く泣いていたが、このことで式場が一斉に涙顔となった。

教師も保護者も来賓の方々も感激の涙の一瞬であった。そして、保護者代表の謝辞の後、参列していた保護者の間で、「朝夕なれにし学びの窓……」の歌声が自然発生的に生まれ、大合唱のうちに式は終了した。この度の卒業式は、終生忘れ得ぬものとなった。この卒業式を通して、子どもたちの心は本当は純粋であり、子どもたちの引き起こす色々な問題行動の背景には、子どもたちに直接責任のない事柄が存在していることが多いことをあらためて感じた。

学校としては、子どもたちを信頼し、温かく包んでよりよい生き方を理解させ、納得させ、実践させていくことを根気強くやるのが大切であり、この度のハプニングは、その成果のあらわれであると実感しているところである。

研究紹介

ティームティーチングを取り入れるに当たって

—共同研究「小学校における個に応じた指導の充実をめざす効果的なティームティーチングの在り方」から—

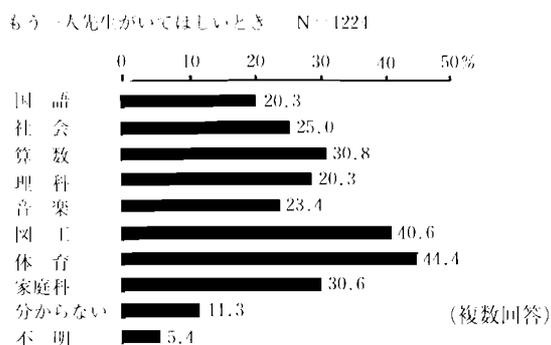
広島市教育センター 共同研究グループ

小学校におけるティームティーチング（以下TTとする）についての研究の一部を紹介します。

この4段階を踏まえて、TTを実施する時の基本的な手順は、次のようにまとめられます。

児童の願い

授業中もう一人教師がいてほしいと望んでいる教科を調べた結果、児童は体育科、図画工作科など表現活動が多い教科を選びました。



また、教師を対象とした別の調査では、個に応じる必要を感じる教科として、教師は一番に算数科を選んでおり、児童の意識と多少のずれがあることが分かりました。

TTを取り入れるに当たっては、いろいろな教科を対象に考えてみる必要があります。

TTとは

TTとは、一部の授業を交換したり、病気や出張の時に代わりに授業を受け持ったりするような一過性の指導ではなく、児童全体を相手に、授業全体に対して計画—実施—評価を2人以上の教師（加配教員も含む）が分担・協力する教授形態です。

TTの方法

○ 実施手順

TTを実施する場合、四つの段階があると言われています。

- ① 一緒に指導計画を立案する
- ② 一緒に指導計画を実施するために必要な教材・教具を集めるか、作成する
- ③ 一緒に指導する
- ④ 一緒に反省し、評価する

I 計画段階

次のことをティームで行う

- (1) 児童の実態（興味・関心等）を把握する
- (2) 指導方針や教師の役割分担を明確にする
- (3) 単元の指導計画を立てる
- (4) 評価規準を設定する
- (5) どこで、だれが評価をするか決める
- (6) 必要な資料、教具や機器を準備する
- (7) 授業の流れについて打合せを行う

II 実施段階

- (1) ティームで学習環境の整備をする
- (2) 次の点に留意しながら指導を行う
 - ・ 指導の流れに沿った役割分担を果たす
 - ・ 児童へ偏りなく指導・助言を行う
 - ・ 教師同士が情報を交換する
 - ・ 児童理解に努め、資料を収集する

III 評価段階

- (1) 児童の学習状況を補助簿に記録整理する
- (2) 学習結果について話し合い、分析を行う
- (3) 座席表記録簿の記録や自己評価なども参考にして総合的に評価する
- (4) TTについて評価を行う

○ 役割分担

TTを教師2人で行う場合、主と副の役割があります。その組合せは、次のような場合があると考えられます。

- ・ 主・主
複数の課題を複数の教師が担当し教える場合。例えば個々の到達度に応じたグループを教える場合などがあります。
- ・ 主・副
1人の教師が中心に指導し、他の教師が補助的な役割をしたり、観察者や記録者に回ったりする場合。
- ・ 副・副
児童が個々の課題を個別に学習する場合。自由課題学習などで取り組まれます。

TT実施上の留意点

TTを実施する上で基本的に留意する点は次のようにまとめることができます。

- ・ TTを実施するねらいについて教職員の共通理解を図る
- ・ 実施前（年度末等）には、TTの態勢（教師、学年、教科、時間数等）を整えておく
- ・ 授業研究などの研修会をもつなど校内研修体制を充実させていく
- ・ だれもがTTの教師になり、担当学年や教科の指導を行うという共通の認識をもつ
- ・ 経験の差を越えて、互いに一人の教師として認め合っていく姿勢をもつ
- ・ 児童にTTのねらいやTTの教師の役割を説明し、十分に理解させる
- ・ 保護者会、学年だより等で保護者の理解と協力を得るようにする

TTの実際

これらの基本的な方法や留意点を受けて、本研究では、個に応じた効果的なTTの在り方として4教科（国語科、算数科、理科、生活科）で指導計画や学習指導案を作成し実践しました。算数科での実践の一部を紹介します。

- 学年 第4学年
- 単元 「整数のわり算」
- TTのねらい
児童のレディネスの違いに応じる
- ティーム編成
TT加配教員（T1）と学級担任（T2）
- 授業の準備
 - ① T1が指導計画、学習指導案の原案を作成し学年会で検討する
 - ② T1（全体指導）、T2（補助説明、まとめの全体指導）の役割を決める
 - ③ 指導内容にかかわるレディネスを分析し、児童の実態を把握する
 - ④ 児童のレディネスに応じるために座席表記録簿、ヒントカード、指示カードなどを用意する
 - ⑤ 特に指導が必要な児童について共通理解する
 - ⑥ 評価についての分担（T1－総合的な評価、T2－日々の活動の観察・評価）を話し合う

○ 学習指導案（一部）

① 指導計画

次	時	学習内容	T1、T2の協力の仕方	
			学習形態	協力の内容
2けたの数でわるわり算(1)	1	・ 2位数でわる除法の意味と何十でわる計算の仕方を理解する	個別指導 個別指導*	全体指導と評価・補助説明 個別指導・評価・情報収集 全体指導と評価 個別指導・評価
	2	・ (2位数)÷(2位数)の計算の意味や筆算の仕方を理解する	個別指導 個別指導*	全体指導と評価・補助説明 個別指導・評価・情報収集 全体指導と評価 個別指導・評価
	3	・ 仮商が大きすぎた場合の修正の仕方を理解する ・ 除法の関係を理解し、答の確かめに用いる	個別指導 個別指導*	全体指導と評価・補助説明 個別指導・評価・情報収集 全体指導と評価 個別指導・評価
	4	・ (2位数)÷(2位数)の筆算が確実に行えるようになる	個別指導*	個別指導・評価
	5	・ (3位数)÷(2位数)で、商が1位数になる筆算の仕方を理解する	個別指導 個別指導*	全体指導と評価・補助説明 個別指導・評価・情報収集 全体指導と評価 個別指導・評価

② 指導過程

学習活動と児童の反応	学習形態	支援と援助	
		T1	T2
1 学習場面について話し合い、本時の課題をつかむ 折り返し紙が170枚あります、34人で同じ数ずつ分けると、1人分は何枚になりますか		・ 折り返し紙の束を見せながら課題提示をする ・ 学習意欲を高める	・ 児童の様子を観察し、学習態勢を整えさせる
2 式を立てる 170÷34		・ 分かっていることとわかっていないことを確認することにより除法の場面であることを気付かせ、立式させる	・ 立式できない児童には、数を小さくして除法の場面であることをとりえさせ、式が立てられるように援助する
3 既習のわり算との違いを気付く		・ 既習のわり算との違いを気付かせる	・ 既習のわり算との違いが分からない児童が多い場合は、既習のわり算の式を提示する
4 「計算の仕方を考えよう」		・ 本時の学習課題を確認する	

児童の変化

TTを取り入れることによって各教科の単元の目標を達成することができました。同時に児童は、主体的に学習し、次のような自己教育力の伸長の兆しがみられました。

- ・ 児童は、自己決定しながら学習を進めるようになる
- ・ 児童は、回りを気にせずじっくり学習するようになる
- ・ 児童は、気軽に教師に質問するようになる
- ・ 児童は、分かるということに感動をもつようになる

詳細は広島市教育センター研究紀要第15号に示しています。これらを参考にして、各校で児童のためのTTが実践されることを願っています。

担当 主任指導主事 財津 伸子
指導主事 木村 正信 尾形 慎治

取り入れてみませんか 道徳(小)

○ 学習方法の改善

今、「再現構成法」という学習方法が注目されています。教師の語る資料の世界を子どもがイメージを膨らませながら自分なりに再現し、その状況下でいかなる行為を、なぜ行うのかを考える方法です。子どもは再現した世界の中で、登場人物の生き方と対話をする中で、自己の生き方を見つめることができます。

この方法を機能させるためには、イメージを膨らませる教師の語りや、ねらいとした価値を把握させる発問等を工夫する必要があります。発問については、登場人物の行動原理となっている倫理的な問題を問うこととなります。

再現構成法を取り入れることで、じっくり感じ、考える道徳の時間にしてみませんか。

取り組んでみましょう 理科(中)

○ 観察、実験を通しての表現力の育成

これからの学校教育では、自分の考えを整理し、順序だてて伝える表現力を育てることが強く求められており、理科教育においても学習指導の工夫が必要となっています。

理科における表現力は、観察、実験から得られた事実や測定したデータ及び結論を再現性の高い公正妥当な方法で伝達する能力です。

このような表現力の育成に当たっては、次のような指導が大切です。

- ① 観察、実験を通じた体験的な学習から生徒の表現しようとする欲求を引き出す
- ② 表現するための基礎的な技能を、発達段階に応じて十分に指導する
- ③ 生徒に表現させる機会を多く与える

こうした考え方を踏まえて、教育センターでも実践的な教育研究を進めています。

変わってきています 国語科(高)

○ 生徒が古典と対話する授業

生徒にとって古典が文学としての魅力を持ち、読みたいものとなることをめざした授業が多く試みられています。

例えば、古語に親しませるために流行の歌の文語訳や文法事項の替え歌などを取り入れた導入、学習テーマ(「愛と不信」等)を設定しテーマにかかわる場面を組み合わせ教材化した源氏物語の指導、万葉、古今、新古今の教科書の掲載歌を再編成してレトリックの比較・分析をさせたり、散文化、物語化をさせたりする指導、古典評論の読みの学習にディベートを組み込んだ指導などがあります。

古典の学習指導も少しずつ変わってきています。

すすめていきましょう 生徒指導

○ 受容的な態度

今、子どもの内面の理解が必要といわれています。内面を理解するには個人面接などの方法が考えられます。その際に、教師は受容的な態度で接することが大切です。

受容的な態度とは、ことばや表現・態度などから、子どもの考え方、感じ方、気持ちを相手の身になって感じとることをいいます。

子どもが教師に願うことの一つに、「先生は親身になって聞いて欲しい」ということがあります。子どもは、いつでも自分を受け入れてもらいたいと願っているのです。

受容されることによって、子どもは自分の気持ちが受け入れてもらえたと感じ、心が安定してきます。そして、教師と子どもとの信頼関係が生じ、やがて悩みを打ち明け、心を開いてくれるようになるものです。

話題の広場

-
-
-

-
-
-

平成7年度 研修講座 始まる

今年度は、次のような特色をもたせながら、125の研修講座を設けています。

- いじめの問題にかかわる研修の充実
いじめの問題にかかわる指導力を高めることをめざして、30の研修講座でいじめの問題の解決、人間関係の醸成、児童生徒理解等についての内容を取り上げています。
- コンピュータ講座の定員増と新設
基礎講座と学習ソフト作成講座の定員を増やし、「コンピュータ講座（応用V）」を新設しました。
- 基礎講座、幼稚園教育講座の新設
「生徒指導基礎講座」「幼稚園教育講座」を新設しました。生徒指導の基礎的な事項や幼稚園教育の展開について研修できます。

平成7年度 「広島市教育センター 教育研究発表大会」のご案内

教育センターにおける教育研究の成果を学校の研究や実践に役立てていただくために、教育研究発表大会を開催します。ぜひ、おこしください。

- 日時 平成7年9月5日(火) 14:30~16:45
- 場所 広島市教育センター
- 内容

(1) 研究発表

- ・ 中学校技術・家庭科における教材の開発
- ・ 学習に著しい困難が見られる児童の指導
- ・ 生徒の相互理解を図る教育相談
- ・ 小学校における効果的なチームティーチング

(2) 講演

講師 広島市児童相談所 所長 岡田 隆介

研修を終えて

「自己効力感を」

広島市立美鈴が丘小学校教諭
今井 邦夫



「自己効力感を高める学級活動の指導の在り方に関する研究」という主題で6か月間研修をしました。自己効力感とは、自信、有能感などの自己に対する肯定的な感情及び認識ないし態度のことを言い、子どもたちのやる気や意欲・自信を支え、促すものです。学級活動において、自己評価・相互評価を取り入れた活動過程を設定すれば、子どもは自己効力感を高めるであろうと考え、活動を計画・実施し、その過程で収集した様々な資料を分析し、この考えを実証しようとしたのが私の研究です。

研究の途中常にご指導を頂いた先生方、激励をいただいた同期の研修生の皆様のおかげで、有意義な6か月間を過ごすことができたことを深く感謝いたします。

研修を終えて

「教具の工夫」

広島市立幟町中学校教諭
三村 正治

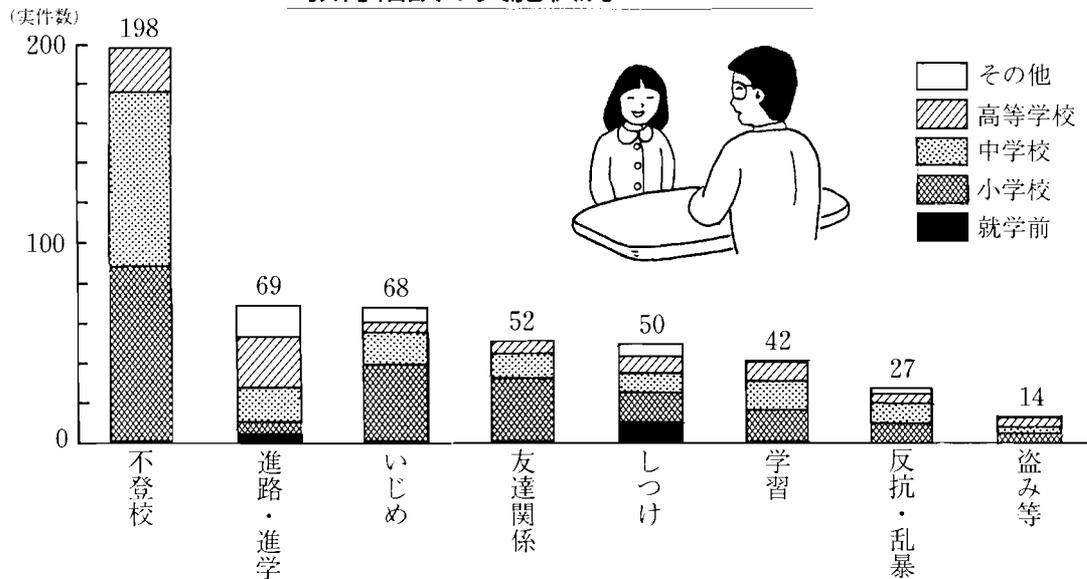


教育研究生として3か月間、教具の工夫に関する研究をしました。研究主題は、「運動とエネルギーの学習における教具の工夫に関する研究」です。エネルギーという言葉は日常でもよく使われますが、それ自体は直接見えないものであり、実体として把握することが難しいものです。そこで機構の分かりやすい教具を工夫し、位置エネルギーと運動エネルギーとの移り変わりを実証的にとらえて理解させることができるよう研究しました。コンピュータによって生徒自身でエネルギーを測定でき、エネルギーに対する定性的なとらえ方から一歩進んで定量的なとらえ方ができたと思われまます。

いろいろと指導して下さった先生方に感謝しております。

教育相談室から

教育相談の実施状況（平成6年度）



不登校の相談が、小学校、中学校などで多い状況です。また、社会的問題となっているいじめに関する相談も平成5年度より増えてきています。

【学校生活で見られるいじめの兆候】

いじめの問題を防ぐためには、子どもの様子から早期に発見することが大切です。次のようなことが見られないか日ごろから注意しておく必要があります。

- 授業中、発表しなくなり下を向いて視線を合わさない。
- 教師の質問に答えたり、意見を述べたりすると周囲からやじられる。
- 生気がなく、表情が硬くいつもと様子が違う。
- まわりの友達に、異常なほど気をつけている。
- 授業時間に遅れて教室に入ってくる。
- 集団からはずれて、一人であることが多い。
- 衣服が破れたり、泥まみれになっていることがある。
- 顔や手足などに擦り傷などが見られ、理由を聞いても自分で傷ついたように言う。
- 人格を無視するようなあだながつけられる。
- 給食を残すなど食欲がなくなり、学習意欲なども落ちてくる。
- 教科書やノートに落書きされる。
- かばんや体育館シューズなどが隠されたり、いすや机が汚されたりする。
- プリント配りや給食当番などをさせてもらえない。
- 掃除や後片付けを一人でしている。
- 部活動に参加しないようになる。
- プロレスごっこでいつも技をかけられている。
- 遅刻や早退が目立ち、学校を休みがちになる。
- 用事もないのに保健室や職員室へ来ては、時間を過ごすようになる。

いじめの兆候が見られるようであれば、他の教師とも連携を図りながら、対応について協議し、援助・指導する必要があります。

利 用 案 内

随 時 研 修

個人やグループ、市教育研究会等で指導主事に相談したり、施設設備を利用したりして研修ができます。

対 象

広島市立学校教職員及び社会教育関係職員

利用日時

月～金 8:30～17:00

利用内容

- 教材研究や指導法の研究
- 教材や資料の作成
- 教材開発
- 実験・実技や実習
- ビデオテープの編集、映画フィルム等の視聴
- コンピュータの教育利用に関する研究や研修

利用方法

事前に電話等で教育センターへ連絡してください。



教育関係資料

研究・研修や授業に役立つ図書、教育研究資料、視聴覚資料等をそろえていますので、ご利用ください。

対 象

広島市立学校教職員及び社会教育関係職員

利用日時

月～金 9:00～17:00

※ ただし、3月の月始めから1週間は整理期間のため利用できません。

利用内容

- 図書の閲覧及び貸出し
- 教育研究資料(集録、紀要、要覧等)の閲覧及びコピー
- 視聴覚資料(ビデオテープ、録音テープ、映画フィルム等)の視聴及び貸出し

利用方法

- 貸出し
 - ・ 図書(3階図書資料室)
 - 個人 3冊まで 2週間以内
 - 団体 10冊まで 3週間以内
 - ※ 教育研究資料の貸出しはしていません。
 - ・ 視聴覚資料(4階第2教育工学室)
 - 個人・団体 3点まで 1週間以内
- 視聴覚資料の視聴を希望する場合は、職員に申し出てください。

所蔵している図書・資料は、各学校・園・社会教育施設に配布している『教育図書・資料目録』『教育映画フィルム・ビデオ教材目録』をご覧ください。

教科書センター

小・中・高・養護学校の教科書を展示しています。閲覧希望の方は、職員に申し出てください。

展示場所

3階ロビー

利用日時

月～金
9:00
}
17:00

教 育 相 談

子どもの教育上の問題や悩みについての相談に応じ、その解決のための助言や援助をします。

対 象

広島市に在住する子どもとその保護者及び教育関係職員

利用方法

事前に電話で申し込んでください。

教育相談

広島市教育センター内
☎(082) 223-4152

相談日時

月～金 9:00～17:00

相談内容

不登校、反抗・乱暴、学業不振、友人関係、進学・進路等についての相談

教育相談室(分室)

広島市児童総合相談センター内
〒732 広島市東区光町二丁目15-55

☎(082) 264-0422

相談日時

月～金 9:00～17:00

相談内容

障害をもつ子どもの教育上の悩みについての相談

いじめ110番

広島市教育センター内
☎(082) 223-4420

相談日時

月～金 9:00～17:00

相談内容

いじめについての相談

教育センターひろば

組織・構成が新しくなりました

21世紀の新しい教育の動向に対応すべく、今年度より、5部構成とし、各部の名称も業務内容が分かりやすいものに変えました。

よろしくお願いたします。

部	事業等	職名	氏名	担当業務
		所長 次長	新居 俊之 福原 敏治郎	所務総括 所務管理・執行
管理部	庶務 経理	主幹(事)主任 主事 主事	岡本 和之 小笠原 紀美子 加納 健史	部内総括、予算、決算 公印、給与、文書管理、経理等 施設設備の維持・管理、経理
研修部	研修	主任指導主事 指導主事 指導主事 指導主事 指導主事 研修指導員	財津 伸子 江田 英俊 中山 千恵 吉竹 邦昭 木村 正信 松脇 守弥 伊藤 俊文	部内総括、国語科 家庭科、技術・家庭科 幼稚園教育 社会科、道徳 生活科、特別活動、社会教育 外国語(英語)科 家庭科、技術・家庭科
教育研究部	教育研究 広報	主任指導主事 指導主事 指導主事 研修指導員	越智 文嗣 福原 正明 尾形 慎治 河野 禎	部内総括、理科 図画工作科、美術科、同和教育 算数科、数学科 理科
教育情報部	教育関係 資料整備 情報教育 推進	主任指導主事 指導主事 指導主事 研修指導員 図書資料室嘱託	井崎 明 神津 住男 松浦 俊雄 寄重 弘光 大下 千賀子	部内総括、音楽科 教育工学、視聴覚教育 理科 教育工学、視聴覚教育 図書資料関係事務
教育相談部	教育相談	主任指導主事 指導主事 指導主事 教育相談員 教育相談員 教育相談員 教育相談員	松田 了二 三原 裕隆 中尾 秀行 渡邊 了夫 正木 更生 高田 博子 片岡 泰幸	部内総括、生徒指導、教育相談 生徒指導、教育相談 障害児教育、教育相談 教育相談 教育相談 教育相談 教育相談

表紙絵 広島市立中山小学校校長 白石 春雄
題字 広島市立段原小学校教頭 鷲見 澄子

教育特別研修生

(平成7年4月～9月)

今年度前期は次の6名の先生方が、それぞれの専門分野で研修を進めておられます。

理科教育：梅田 広晴教諭 (志屋小学校)
 図画工作科教育：三戸 清司教諭 (福木小学校)
 教育工学：水ノ上俊一教諭 (安東小学校)
 特別活動：廣川 直教諭 (大州中学校)
 国語科教育：種谷 克彦教諭 (舟入高等学校)
 幼稚園教育：後藤 泉教諭 (緑井幼稚園)

教員特別研修研究員

(平成7年4月～平成8年3月)

校内研修：川西 史樹教諭 (可部小学校)
 校内研修：西崎 信一教諭 (高取北中学校)

職員の異動

※離任 ～在任中はお世話になりました～

高田 和彦所長 (市教委学校教育部へ)
 宮脇いち子指導主事 (矢賀幼稚園へ)
 中村 朋晴主事 (佐伯区役所へ)
 前田 典生教育相談員 (退職)
 室中 弘道教育相談員 (退職)
 木村 琢壯教育相談員 (退職)

※就任 ～どうぞよろしく～

新居 俊之所長 (江波中学校から)
 中山 千恵指導主事 (船越幼稚園から)
 加納 健史主事 (安佐北区役所から)
 正木 更生教育相談員 (己斐上中学校から)
 高田 博子教育相談員 (矢賀小学校から)
 片岡 泰幸教育相談員 (似島中学校から)

編 集 後 記

今年度より、紙面を2ページ増やし、8ページとしました。皆様の教育活動に活用していただけるよう、一層の充実をめざしております。内容についてのご意見、ご感想をお寄せください。